

## 2 おとな（回答者数：278人）

### (1) 地域における人とのかかわりあいの必要性

地域の子どもは、地域で育てる・かかわる

- ・子どもの精神的成長には多くの人々と密接にかかわる必要があります。それには昔のように、地域の人がよくことをしていた子どもをほめたり、悪いことをした子どもをしかったりするのが重要です。しかし、今の社会においてその実現は難しいと考えられていて、その原因は子どもが昔より大人っぽくなったことになるように思えます。激動する社会において、子どもがシニカルな視線で物事を見るようになってしまいました。学校教育や市の教育において、人間を尊重するべきだということをお教えあげたいですね。（10歳代・男）
- ・親や近所の人々の子どもをあたたく見守る地域になるよう、「大人」の責任にて作り上げることが大切だと思う。（50歳代・不明）
- ・地域で、近所の大人たちが子どもをかわいがり、叱ったり、自然にできるようになるとよいと思う。（70歳代・女）
- ・地域の活動に参加できるような環境をつくり、子どもたちと地域が密着した関係を築くことが大事。家と学校などだけではなく、地域の人たちとも大人と子どもの交流を深めていけたらいいと思います。（30歳代・男）
- ・地域の中であいさつをかわしたり、日常会話が持てるような人のネットワークを、子どものうちから広げていく努力をしたらもっといいと思います。（30歳代・男）
- ・自治体など地域にあかぬ団体や、活発に活動・機能していることが必要だと思う。現状ではかなりお寒いものがあると思うので。それには大人の地域を思う心が足りないのでは。（50歳代・女）
- ・町会によっては、少年野球・少年サッカーなどがないところがありますが、そういうところは、となりの町会などがもっと誘ったりすればいいと思います。スポーツなど集団での行動が子どもの人を思いやる気持ちが育成されるのではないかと思います。（40歳代・男）
- ・現状の生活状態にあった地域行事の参加につとめ、子どもを大切にす人間関係をつくっていくことが必要だと思います。（50歳代・不明）

年代を超えたかかわりあい

- ・子どもの安心・安全のためには、家・学校・地域が、横の連携を強化していくことが最重要課題だと考える。課題解決に向けては、子どもが年長者とふれあう機会も減っているため、地域に住むシニア（60歳～）の方々のご協力・参加をお願いしたい。例えば、地域の安全パトロール、キャリアを活かした教室・講演会など。逆に、子どもたちは、老人ホームなどを訪問して手伝いをする、公園の掃除などを必須としてとりくみ、お互いが支えあう活動を展開してほしい。市・区としての取り組みがあまりにもお粗末である。また、全ての活動の担い手をボランティアで募るのには私は反対です。ボランティアだと責任の所在が不明確。例えば、小学校のわくわくプラザ（学童保育）では、事故を防ぐために、その日の責任者だけは有資格者にするなどの配慮がほしい。ある程度のお金をかけなければ良い人材は集まらないと思う。今後の取り組みに期待しますし、参加・協力して参りたいと存じます。（30歳代・男）
- ・親子や地域でのコミュニケーションが不足しているように思う。核家族が多く、世代間のギャップも大きい。地域の元気なお年寄り（ゲートボールを楽しむような方々）との交流がもっと多くなる

といいと思います。(30歳代・女)

- ・かつての遊び・ローテクものを復活させて、50歳代から70歳代の年配者と競い合い、コミュニケーションを図るのもいいかなと思う。個人の生き方、ライフスタイルとかえらそうな言葉が飛び、もっと素朴な遊びの中に、知恵や人間関係づくりができるのではないだろうか。年配者との会話の中に平和のよさも伝えていただきたい。とにかく子どもは大勢の中で自分を発見していくものである。(40歳代・男)
- ・地域のオジイちゃん、オバアちゃん、オジサン、オバサンを巻き込むような行事を企画したらよい。(50歳代・男女不明)

## (2) 親子のかかわりあいの必要性

- ・親子がともにいられる時間を多くとれるようなそういう環境を作っていくことを考えていくべきではないか。親とのコミュニケーションの中で、子どもは自分に責任をもったり、常識の中でよりよい自分を育てていくことができるのだと思う。(20歳代・女)
- ・親子が向き合って会話をし、子どもの頃に会話をたくさんし、お互い良し悪しを話し合い、親も子どもに育てられ成長していくのだと思います。(50歳代・女)
- ・親がしっかり子どもたちと気持ちを通わせること。(不明)
- ・大人と子どもの心を結ぶ接点作りが今は重要と考えます。(60歳代・男)
- ・子どもと一緒に考えていくようおとなが時間をつくってやるべきです。(40歳代・女)

## (3) 子どもとおとなの関係について

- ・子どもに対し、本気で意見を言えるようになるとよい!(50歳代・男)
- ・おとなが子どもに建前を押し付けたり、おとなと子どもの境界を引いてものを考えたりせずに、むしろ大人としてどうあらねばならないか、大人自身が身を正して考えることの方がひいては、これから大人になっていく子どもたちのことを思う道につながるのではないか。(40歳代・女)

## (4) 親の教育の必要性

- ・子どもの教育の前に、親の教育が必要だと思います。外でよく見かける光景ですが、子どもを叱らない親が増えています。注意すると相手をにらむ親、時には大声を出して叩いている親も見かけますが、まずは何でいけないのか?子どもの年齢に合った叱り方が必要ではないでしょうか……。叱る教育は小さいころだけですから……。悪いことは叱り、良いことは心からほめてあげることの大切さは、親自身が考えなければいけないと思います。大人も子どもも注意ができない最悪な治安にしたのは、わたしたちひとりひとりの責任です。叱られてばかりいる子どもは、愛情不足の子に限って、どこかにはけ口を求め、いじめに至るのではないのでしょうか。教師や相手に責任を押し付ける前に、まずは親の子育ての責任をしっかりと考えるべきと思っています。子どもの目線で接してあげる大切さ……。そして話を聞いてあげることです。子が泣いているときは一緒に泣いてあげ、怒っているときは一緒に怒る……。とりあえずは「まず親が味方」「親がいつでも守ってあげる」ということで、子は安心感がもてます。痛みのわかる子どもも大人も増えるといいですね。いつの日か、ほんとうに。(50歳代・女)
- ・子どもの良いところをみつけてどんどん褒めてくれる大人がたくさんいてほしいです。親はなかなかほめることができない人もいます。(40歳代・女)

- ・自分の子どもばかりではなく周囲の人間とのかかわりを持ち、関心をもつことが大切だと思う。他人の子どもでも一人の人間として接することを心がけていきたいと日ごろ思っているが、各家庭の思惑などがあるので困難である。子どもよりも親が問題ということが多々ある。(50歳代・男女不明)
- ・子どもの周りに子どもの権利を侵害するおとながいなければ、過保護に子どもの権利を守らなくてもいいと思います。子どもの権利を主張するより、子どもの周りのくだらない教師や大人をどうにかしましょう。子どもが将来そういうおとなにならないような環境をつくりましょう。そういう大人にならないような教育をしましょう。(20歳代・男)
- ・現在の若い父母を見ていると、まるで人形かペットのように子どもを扱って、やがて大人になるとどういう人間に育つかわかったものではありません。親や先生からしっかり教育しなおさなければよい世の中は望めないと思います。(60歳代・女)
- ・第一に、親のあり方。産んだのだから責任を持って育てること。(50歳代・女)
- ・おとなは、子どもに、おとなになるまでに学ばなければならない基本知識(勉強も、生活のマナー、人づき合いのルールなど)をたたきこんで教えるべき。(20歳代・女)

#### (5) 子ども同士の関係性構築の必要性

- ・地域での子ども中心にした、小学生(もしくは幼稚園児から)~高校生くらいまでの縦割りのつながりが必要だと思います。(40歳代・女)
- ・小中学生のときに、たくさんの体験・経験をして、人間関係をつくってほしいと思う。(60歳代・女)

#### (6) 相談できる場所・人の必要性

- ・子どもが相談しやすい場所や人が身近にいたほうがいいと思います。(30歳代・女)
- ・親、先生など毎日いっしょにいる人以外の人で相談しやすい大人がまわりにいること。(20歳代・女)
- ・いじめの事実があっても、学校も先生も結果として知らないふりをしているとしか見えない。子どもが、相談できるためには、子どもの人権をしっかり守る地域や行政のシステムづくりと、指導者やスタッフが誠実な活動をしている「団体」や組織をつくり、その中でいろんな友人たちと話し合う。親たちも協力、あるいは一緒になって交流する場としての組織を活用することが必要と思う。(50歳代・男)
- ・親同士の横つながりと縦のつながりが今以上に充実すれば、困ったこと、不安なことを共有できるようになっていい。(30歳代・男)

#### (7) 地域について

##### 地域行事や活動の情報提供の必要性

- ・ボランティア活動や地域活動の情報をもっとほしい。(40歳代・男)
- ・市立学校に子どもが通っていないと、地域の情報が全く耳に入っていないままに生活することとなり、益々まわりと接触する機会が減っている現状です。子どものスポーツ活動やボランティア等を通じて、せめて少しでも地域の方々とふれあえたらと思うのですが・・・。(40歳代・女)
- ・子育て支援やそういったものがあっても知らないことが多い。市報などでもっとそういった情報を

入れてもらいたい。(30歳代・男)

#### 施設・設備の整備をする必要性

- ・温水プールやトレーニングルームをもっと作ってほしい。(40歳代・男)
- ・児童相談所などの施設の内容の改善をはかってほしい。近所の情報を集めたりこまめな活動を望みます。(50歳代・男女不明)
- ・川崎市子ども夢パークは、大きい子どもたちが屋内で使用しているときは小さい子どもは利用することができない。(50歳代・男)
- ・中原区は、児童公園が少ない、あっても整備されていない、ホームレスがたむろしている。中原区は子どもを育てる場としては不適格とさえ思う。また、保育所の数が少なく、無認可でさえ数十人待ち状態というのは異常であると思う。(40歳代・男)
- ・老人や乳児が遊ぶ公園はたくさんあるけど、小中高校生が遊べる公園はない。(40歳代・男)

#### 安全対策

- ・子どもたちが遊ぶ公園に不審者がいて、安心して子どもを遊ばせることができない。こういう人たちを放っておいていいのだろうか。(30歳代・女)
- ・学校の行き帰りの道路がもう少し安全だといい。(夜道に街灯を増やす、人を配置する、など)(60歳代・女)
- ・通学路や公園などのパトロールを行って、子どもが安心して暮らせる街づくりをした方がよいと思う。(20歳代・男)
- ・外での子どもたちの安全を守ってもらいたい。(70歳代・男女不明)

### (8) 学校について

#### 安全対策

- ・防犯ベルとインターホンでは心配。緊急通報システムの導入を検討してほしい。警備員については格技有段者などの配置でなければ頼りにならないのでは。(40歳代・男)
- ・学校内の安全対策に、保護者だけでなく、地域の力を借りる。少なくとも話し合いをもてばいいのではないのでしょうか。学校の中だけで問題解決を図るのではなく、広く地域の問題として他者の介入を認めていかれたほうがいいのではないのでしょうか。(50歳代・女)
- ・小1小2だけしか防犯ブザーを市が支給しないのはなぜか。小3以上の子どもにも防犯ブザーを持たせたほうがいいのではないか。(30歳代・女)
- ・学校区を中心に、地域からボランティアを募集し、登下校時、放課後の公園など、パトロール隊を組織する。(50歳代・女)

#### カリキュラム等について

- ・学校の教育は知識を優先しすぎている(進学、偏差値の関係と思う)。しかし大学で教えた経験から申しますと、学校で教わった知識はまったく学力になっていません。特に小学校のような幼児教育では、知識は読み書きそろばんに留めて、何がよいことか、何が悪いことかをしっかり教えるべきであると思います。これは学校での教育であるよりも家庭教育の問題ですが、一般に母親・家庭の教育の考え方がなっていないのでは学校で補うしかないと思います。(70歳代・男)

- ・ゆとり教育の見直し（40歳代・男）
- ・小学生から夜に塾に通わせたりする必要がないよう、ゆとり教育の早期見直しをお願いしたいです。（30歳代・女）
- ・子どもは、小中高校の12年間を学校で過ごすのであるから、いかに学校生活を楽しくすることが大切なことと思います。学校に行くと級友や先生たちがいるから、楽しいところであると感じられるような状況になることが必要であると思います。勉強だけでなく、クラス全員参加の学校行事を企画すると、楽しい場所になると思います。（50歳代・男）
- ・学校教育の充実。（30歳代・女）
- ・土曜日学校に行くのも子どもの権利です。それをうばっているのは大人です。（60歳代・女）
- ・川崎市は3年生の秋までクラブがあります。受験勉強への取り組みも、横浜や東京など近隣の地区より遅れるため、勉強が間に合わない。説明会頃、最後の試合があり、見学できなかった、などの話を聞き、疑問を感じます。（40歳代・女）

#### 教師について

- ・子どもが荒れるのは、先生の人格のなさ。先生になってはならない様な方が多く見られます。（60歳代・女）
- ・教師の質を向上させる。（適応性、人間性）（60歳代・女）
- ・親は子どもを学校に「人質」として取られているようで、素直に教育現場に意見をいえるとはいい難い面があります。教員を子どもや親が評価できるような仕組みなどを検討されてはいかがでしょうか。（40歳代・男）
- ・公立小中学校でも定員制にし、マンモス学校をなくして、生徒ひとりひとりに目を配る。先生の人員を増加する。専門性にすべき教科もあってよい。（60歳代・女）

#### 学校・家庭・地域の協定の必要性 日常的に話し合う場の設定

- ・学校を地域の人や子どもたちにもっと開放して、先生も一緒に子どもたちの活動を応援できればと思っています。育児真っ最中の親だけではなく、もう子育ての終わった親も一緒に参加できる企画があれば、子ども達を学校だけでなく、地域で守り応援できるのではないかと思います。（50歳代・女）
- ・子どもをねらった犯罪が多いが、だからといって子どもを家の中や習い事に閉じ込めてしまうのは絶対よくないと思います。地域で安心して遊ばせられる公園、学校をしっかりと確保してほしいです。特に学校は、放課後は地域の団体への開放事業ということで、わくわくプラザ以外の子どもは行ってはいけないということになっており、疑問を感じています。（30歳代・女）
- ・学校で問題があるとき、先生方は可能な限り、学校内で解決しようと努力します。PTA役員も例年通りに仕事をすることに固執して、一番大切なことにとりかかる勇気をもてずにいます。しかし、保護者と生徒に、個人情報に配慮することを前提として、情報を与え、共に考える機会を持たせれば、必ず道は拓けます。「解決方法を提示しなくてよい。一緒にこの問題について何ができるか考える場を持つ。」このことをあたりまえのように皆が言い出せるようになれば、80%解決したことになると思います。（40歳代・女）
- ・先生・職員・親・地域住民が、日常的・継続的に話し合える場をつくる必要がある。（50歳代・男）

#### その他

- ・子どもの生活の基本が学校である以上、地域以上に学校が落ち着ける場所になる必要があると思います。(20歳代・男)
- ・学校での催し物などは極力減らして、家庭(親)に任せるべき。(30歳代・男)
- ・高校受験の形が変わり、内申点重視の試験となり、いわゆる良い子を求めている傾向にある。中学校の三年間、常に良い子で休まず、学校の校内試験で必ず良い点数を取り続けなければいけないこの制度は、子どもたちにとっては大きな負担です。また、多くの生徒をまかさね、1人1人に手が回らない先生方も気の毒です。また、私立高校をつぶさないために公立学校の定員をへらしていることも問題だと思います。(50歳代・女)

#### (9) 市政について

##### 子ども関連の予算確保の必要性

- ・厳しい市の財政面から、さまざまな人件費が削られています。子どもに寄り添うための人的資源が次々カットされている現実、子どもの権利を疎外することになりこそすれ、守る方に進んでいるとはとても思えません。保育園の民間委託で、経験ある保育士さんが減り、乳幼児1人あたりの面積、職員が減った、など。子どもの権利が守られるということは、とりもなおさず、おとなや高齢者の権利も守られる社会・地域づくりになるはず。心の通った施策を望みます。(40歳代・女)
- ・市の条例を立ち上げたら、末端まで活性化するよう、予算の確保・場の提供などをして援助してほしい。(50歳代・女)

##### 施策・制度について

- ・子育て優先の安い家賃の市営住宅があってもいいんじゃないですか。でないと、子どもを生めません。(40歳代・男)
- ・子どもの虐待に地域で積極的に介入できるような制度があればいいと思う。(40歳代・女)

#### (10) その他

- ・物を売るためのモノづくりを考え直す必要もあると思う。ゲーム、おもちゃなどカンキョウに悪いと取り上げるより、なんで悪いかを考えさせることも必要ではと思う。(50歳代・不明)
- ・家庭や友人、学校などで、子どもの個性を伸ばすことが大切。(60歳代・男)
- ・子どもたちは元気に楽しく遊び、好きなことをしたりテキトウにすごすことが良いと思います。(60歳代・不明)
- ・権利条例における学校の位置づけをもっと明確にすべきである。子どもの命を左右する出来事は学校教育の場面で発生しているのである。再認識すべきである。(60歳代・男)
- ・子どもの権利は当然守られるべきであるが、同時に「責任」と「義務」をきちんと指導し、子ども自身に認識させるべき。(50歳代・女)
- ・自分が子どもの頃は、学校では勉強をし、集団生活の中から得られるたくさんのことを経験し、家に帰ったら外で体を思いっきり使って遊び、夕食は家族で教の出来事を話し合う・・・今の自分があるのはそんな毎日を過ごせたからだと思うのですが、現在の子供達は心も体も病んでいるように感じます。どうしてかは、各々皆さんが自分たちの理想を課題に子どもたちに押し付けているよ

うな気がします。(40歳代・女)

- ・この世に生まれてきた以上、できるかぎり愛情を注いで子どもたちを守ってあげたいですネ。それには若い人も老人も隣近所は仲良く言葉を掛け合いながら頑張っていこうと思います。子どもは宝物です。(60歳代・男)
- ・今の子どもたちは責任や義務を果たさずに権利ばかりを主張します。身につけなければならないマナーや知識や社会で自立するための能力が不足しています。ある特定の大人(親や教師だけ)との会話に距離がないからだと思います。子どもが自分らしく生き生きと暮らしたら、我々おとなの社会はダメになるんじゃないですか?(40歳代・男)
- ・学校は勉強を教える場であり、全人的な教育は親がすべきです。親が、人間の親になるというのはどういうことか、その責任・義務につきよく考え自覚した上で、学校は安全に勉学に励む場であり、ホッとしたり、くつろいだりする場所ではありません。(50歳代・女)

#### (11) 連絡をほしい・アンケート改善点

- ・子育てサークルを作って、子どもの心に暖かい気持ちを届けたいと日々思っています。NPO などのような手続きを踏めばいいのか教えていただければやってみたいです。ただ、年齢が65歳、ちょっとエネルギーが続きますか・・・。(60歳代・女)
- ・子どもが小さすぎて回答に困った。子どもがある程度の年齢にならないとせっかく様々な活動や支援があっても関心がありません。(30歳代・女)
- ・どんな子どもを想定してこたえるべきか、わからないので回答が難しかった。  
自分の子、ある特定の子、子ども一般(30歳代・女)